

科学技術・学術審議会人材委員会

当面の検討課題について（案）

総合科学技術会議

H22.12 答申「科学技術に関する基本政策について」 - 第 4 期基本計画策定に向けて -
東日本大震災を受け、8 月までに再検討

科学技術・学術分科会 総会

H21.12 「我が国の中長期を展望した科学技術の総合戦略に向けて - ポスト第3期計画における重要施策 - 」

東日本大震災を踏まえた今後の科学技術・学術政策の
検討の視点（H23.5 総会決定）

人材委員会

平成 21 年
報告

「知識基盤
社会を牽引
する人材の
育成と活躍
の促進に向
けて」

【当面の検討課題（案）】 詳細は次頁参照

- 1 . 文部科学省研究開発投資における
人材育成に関する指針の検討
- 2 . キャリアパス等の分析と課題の整理

国際委員会

科学技術の国際活動の在り方について審議中

中央教育審議会

大学分科会 大学院部会

平成 23 年 1 月答申

「グローバル化社会の大学院教育」

「大学院教
育施策要綱」
の策定に向
けて審議中

若
手
研
究
者
育
成

大
学
院
教
育

科学技術・学術審議会人材委員会 当面の検討課題について（案）

1. 文部科学省研究開発投資における研究人材育成に関する指針の 在り方について検討

検討事項の例

- ・ ポストドクターの意義・定義
- ・ 研究専念義務の在り方
- ・ キャリアパス支援
- ・ 博士課程（後期）学生の研究・イノベーション参加促進
と経済的支援 ～世界的な水準を目指す～
- ・ 雇用期間、処遇 等

第5期人材委員会「知識基盤社会を牽引する人材の育成と活躍の促進に向けて」（H21）

国、大学及び研究資金配分機関等は、互いに協力し、ポストドクターを雇用する労働条件や養成の在り方等を示したガイドライン（以下、「ポストドクター雇用等ガイドライン」という。）を策定するべきである。ガイドラインにおいては、ポストドクターの能力向上の責任が雇用する側にもあることなどを明確にし、処遇、雇用期間、指導教員等との関係等の項目を盛り込む必要がある。

ポストドクターの多くは、競争的資金等の外部資金により雇用されている。研究資金配分機関は、個々の競争的資金制度の整合性を図りつつ、その目的や特性に応じて、組織に対する競争的な支援制度の審査項目に、キャリア教育の設定や過去の人材育成の実績等を盛り込み、これらを採択の一指標として評価することが必要であり、こうしたことは、大学教員等が人材育成に対する意識を高めることにもつながる。

大学等は、博士課程学生やポストドクターに対する経済的支援の重要性に鑑み、組織に対する競争的な支援制度において、個々のポストドクター等が従事すべき任務を明確にし、RA やポストドクターの雇用経費等に充当する割合を高めていくべきである。

同時に、ポストドクター自身が一定期間、自立的な研究やキャリア開発のための活動に専念できるよう、プロジェクトの目的や特性に応じて、職務専念義務に関する現行の考え方の見直し等を検討する必要がある。

2. 研究人材のキャリアパスと雇用形態に関する分析と課題の整理

分析事項の例

- ・ 分野別年代別に見たキャリアパスに関する分析
- ・ 分野別に見た研究開発投資と雇用形態の関連分析
（産業界の雇用需要や、大学等の公的研究機関における短期雇用の状況）
- ・ 諸外国における研究人材のキャリアパスや雇用形態